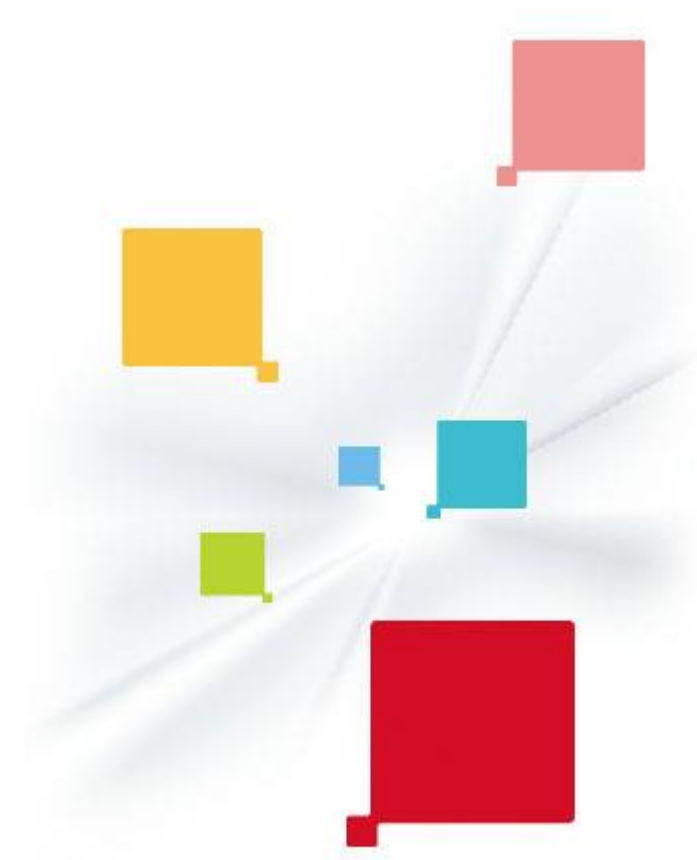


FY2023 Q3 決算概要

2024年 2月 6日
株式会社リコー



本資料に記載されている、リコー(以下、当社)の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。従って、実際の業績は異なる結果となる場合がありますので、これらの業績見通しにのみ全面的に依拠なさないようお願い致します。

実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、a) 当社の事業領域を取り巻く経済情勢、景気動向、b) 為替レートの変動、c) 当社の事業領域に関連して発生する急速な技術革新、d) 激しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる製品・サービスを当社が設計・開発・生産し続ける能力、などが含まれます。ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。
(参照：「事業等のリスク」<https://jp.ricoh.com/IR/risk.html>)

本資料に他の会社・機関等の名称が掲載されている場合といえども、これらの会社・機関等の利用を当社が推奨するものではありません。本資料に掲載されている情報は、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関するご決定は、ご自身のご判断において行うようお願い致します。

本資料における年号の表記：4月から始まる会計年度の表記としております。
(例) FY2023 (2023年度)：2023年4月から2024年3月までの会計年度

事業区分の変更等について

当連結会計年度より、その他分野のPFU事業および一部共通費用を、リコーデジタルプロダクツとリコーデジタルサービスに事業区分変更を行いました。

FY2023 Q3 決算概要

業績

- Q3は増収増益
 - ✓ MFP販売は競合の価格攻勢等に対する地域・市場ごとの販促策展開により引き続き台数を伸ばすが、市場在庫削減・生産調整を継続。リコーデジタルプロダクツの収益挽回には及ばず
 - ✓ サーマル事業は欧米での需要低迷影響が続き販売未達が継続
- オフィスサービス事業は増収増益、収益基盤となるストック売上は前年比17%増で順調に成長
 - ✓ 日本では、法改正対応が引き続き旺盛、スクラムシリーズが好調
 - ✓ 欧州では景況弱含みの影響が一部見られるが、買収企業中心に引き続き堅調に推移
- リコーグラフィックコミュニケーションズは増収増益、パイプライン積み上がり

見通し

- 営業利益 600億円に下方修正
 - ✓ CCC改善のための在庫・生産調整を優先し、生産収益の上期末達を挽回しきれない
年度内に在庫・生産調整に区切りをつけ、来期に向け需要変動に応じた生販連携を立て直す
 - ✓ サーマル事業の収益未達は年度内では挽回しきれないが、コスト・支出削減とプライシングコントロールは維持

株主還元

- 期末配当 は18円（年間36円）・増配の予定に変更なし
- 資本調整と投資とのバランスから、追加還元として300億円の自己株式取得枠の設定を決定

連結損益計算書

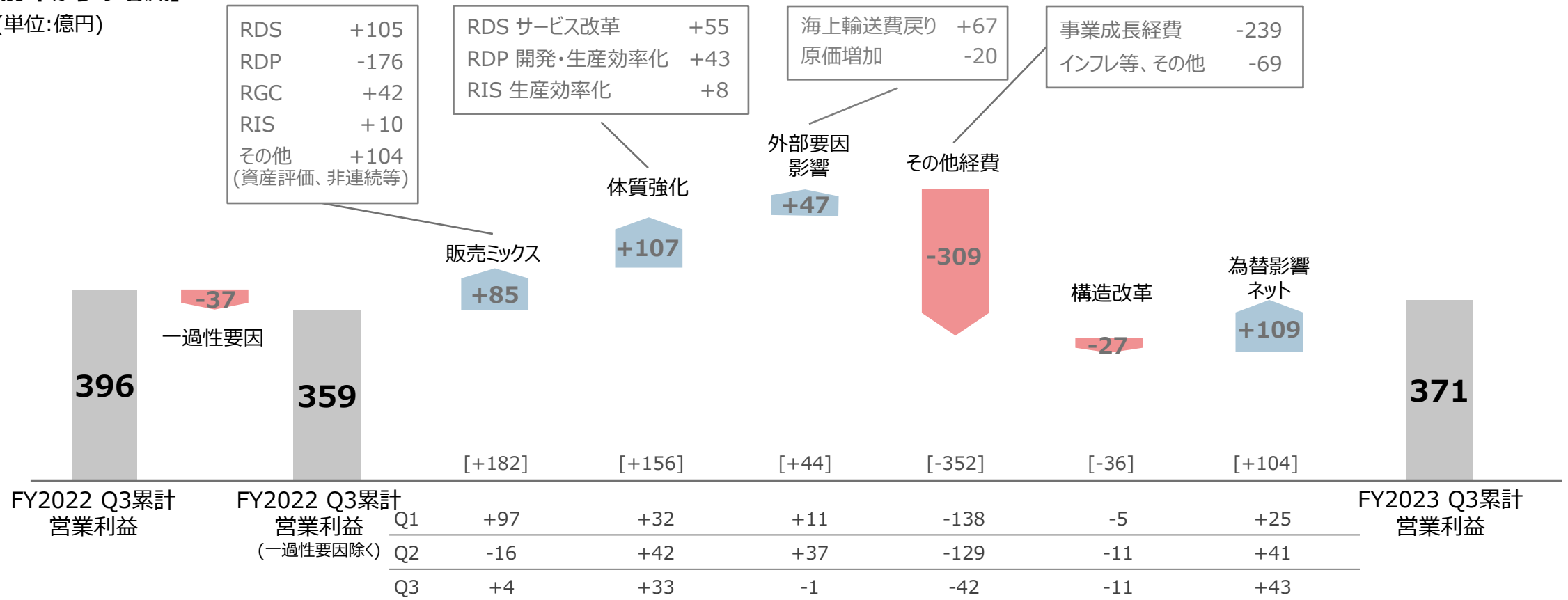
	FY2022 Q3累計	FY2023 Q3累計	前年同期比	
売上高	15,286億円	16,976 億円	+1,690 億円	+11.1%
売上総利益	5,388億円 (35.3%)	5,966億円 (35.1%)	+578億円	+10.7%
販管費等	4,992億円 (32.7%)	5,595億円 (33.0%)	+602億円	+12.1%
営業利益	396億円	371 億円	-24 億円	-6.2%
営業利益率	2.6%	2.2%	-0.4pt	-
親会社の所有者に帰属する 当期利益	274億円	302 億円	+28 億円	+10.3%
EPS	44.29円	49.71円	+5.42円	
期中平均 為替レート	1USDドル 117-0	136.49円 140.55円	+6.75円 +14.71円	
研究開発投資	773億円	817億円	+44億円	
設備投資 (有形固定資産)	285億円	336億円	+50億円	
減価償却費 (有形固定資産)	310億円	324億円	+13億円	

要因別営業利益

- ✓ 販売ミックスではOP販売台数改善・市場在庫整理が進捗するも、想定に届かず、上期未達を挽回する増産に至らず
- ✓ RISサーマル事業は需要弱含みが継続
- ✓ オフィスサービスは引き続き成長し、体質強化及び外部要因影響は想定通り
- ✓ その他経費は、販促・インフレ・PFU連結化が増加要因

【前年からの増減】

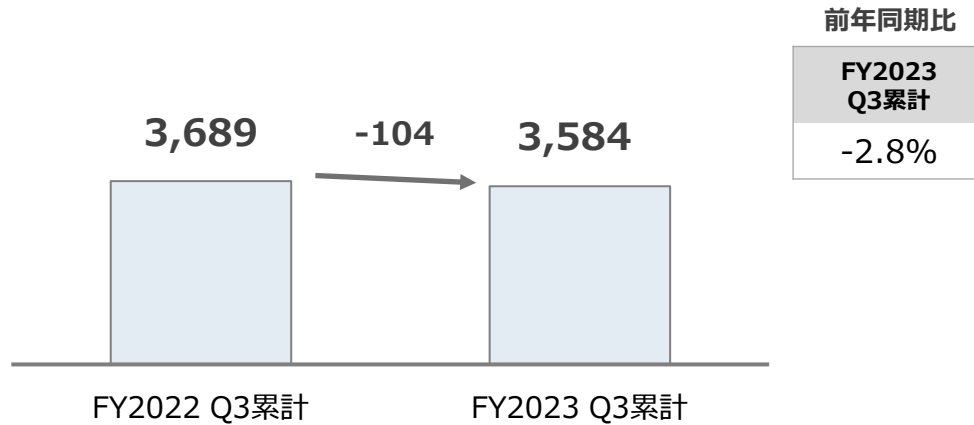
(単位:億円)



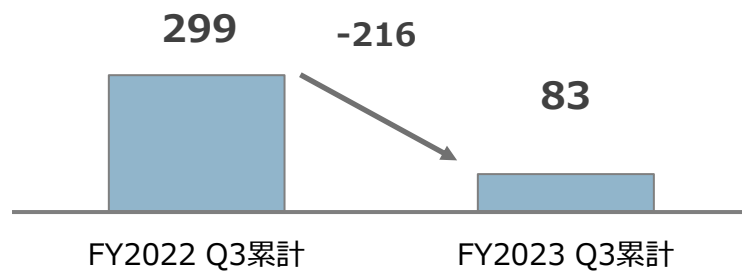
リコーデジタルプロダクツ

MFP生産量回復、Q3増益

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



概況

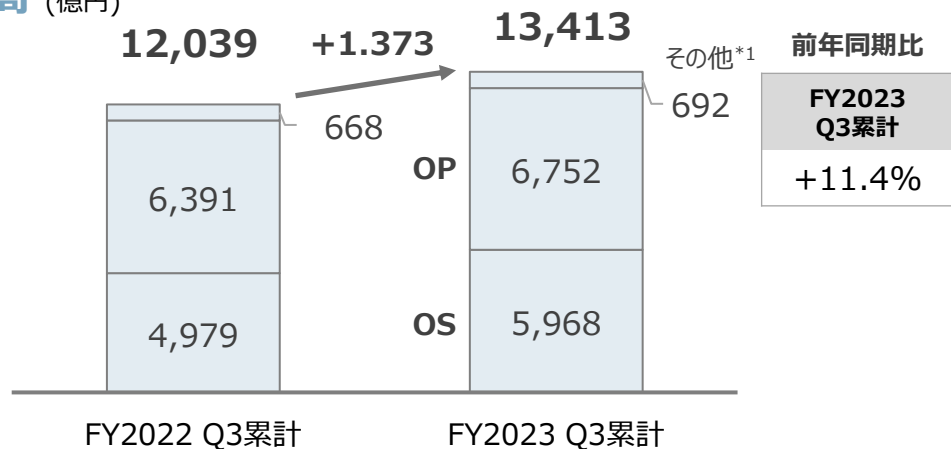
- Q3営業利益は年度末需要に向けたA3MFPの生産量増加やコストダウン等により前年比増益
- A3MFPの生産調整やA4MFP増産に伴う製品ミックス等により上期未達は挽回しきれていない
- 体質強化は計画通り進捗
- スキャナは米州でのIT投資弱含みにより販売低迷
- 東芝テックとのジョイントベンチャー組成に向けて準備を進める
 - ✓ 2024年7月1日 エトリア株式会社設立予定
 - ✓ 技術・設備の共有化による効率的な生産・開発体制構築に向けて組成する機能・生産拠点を確定

※その他に計上していたPFU事業の一部をリコーデジタルプロダクツに移管、2022年度についても遡及適用。

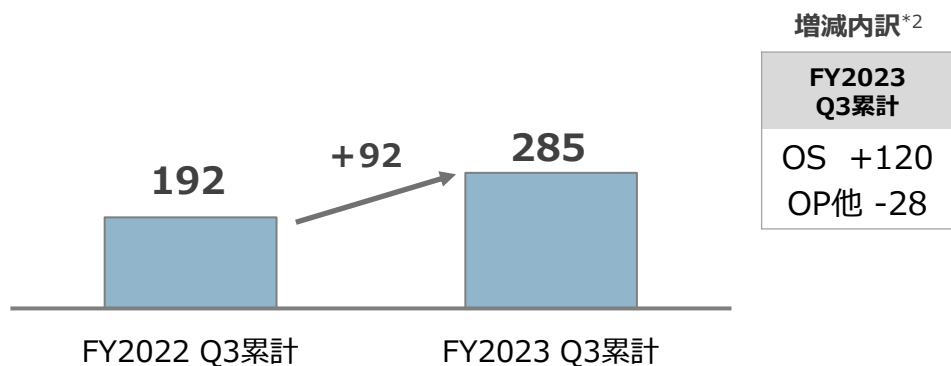
リコーデジタルサービス

オフィスサービスは引き続き日本・欧州が成長を牽引

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



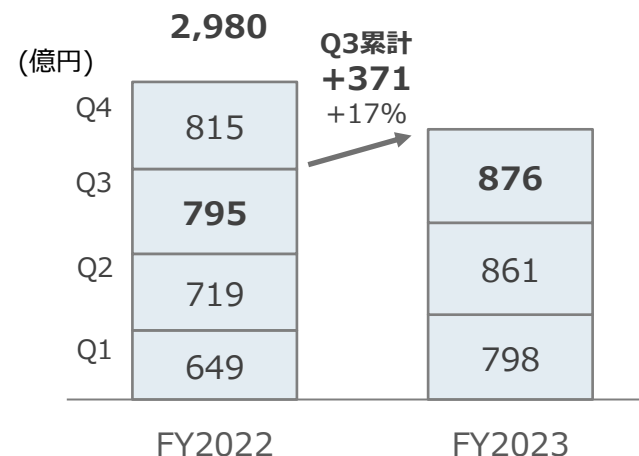
※その他に計上していたPFU事業の一部をリコーデジタルサービスに移管。
また、オフィスプリンティングに計上していた一部事業をオフィスサービスに移管。2022年度についても遡及適用。

*1 環境ソリューション、産業ソリューションなど
*2 社内管理の利益に基づき試算

概況

- オフィスプリンティング（販売） 増収率：為替影響除く
ハード 5%増収、販売台数は想定未達
ノンハード 1%減収、想定通り
- オフィスサービス
ITサービス・アプリケーションサービスは引き続き堅調
米州のコミュニケーションサービスが好調維持
ストック売上17%増収、収益基盤成長を継続

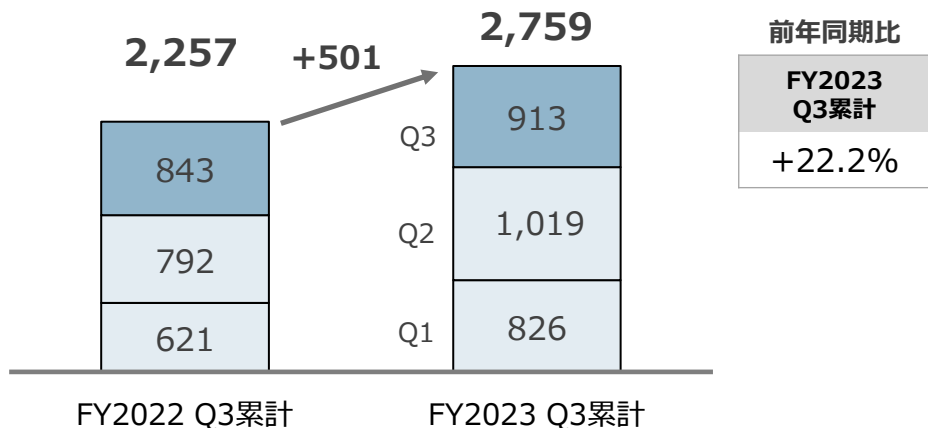
OSストック売上



リコーデジタルサービス オフィスサービス概況：日本

スクラムシリーズ継続伸長。法改正に対応した製品でお客様に貢献

売上高 (億円)



- スクラムパッケージ (中小企業ターゲット)
 - ✓ Q3も好調、Q3累計売上高 25%増収
 - ✓ インボイス制度・2024年度の法改正ニーズが依然として高く業務パックが好調
- スクラムアセット (中堅企業ターゲット)
 - ✓ Q3累計売上高前年比170%、高成長維持
 - ✓ システム導入後のサービスやセキュリティ関連の需要好調が継続
- RICOH kintone plus
 - ✓ Q3も大幅伸長。セミナー等のイベントを通じ、販売拡大

分野別動向 (億円)

(為替影響除く)

FY2023 Q3累計	売上高	前年同期比
オフィスサービス 計	2,759	+22%
ITインフラ (ハード・ソフト)	1,200	+24%
ITサービス	726	+32%
アプリケーションサービス	673	+15%
コミュニケーションサービス	129	+0%
BPS	30	+6%

スクラムシリーズ実績 (億円)

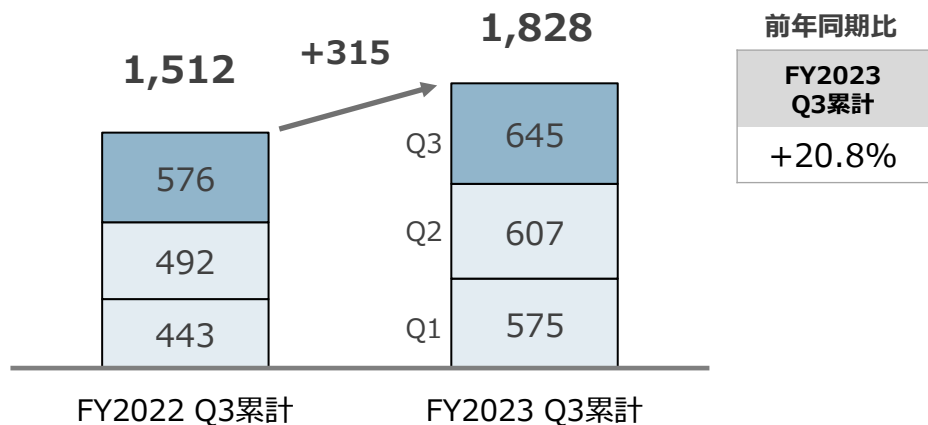
FY2023 Q3累計	売上高	前年同期比
スクラムパッケージ	417	125%
スクラムアセット	517	170%
合計	934	147%

FY2023 Q3累計	販売本数	前年同期比
スクラムパッケージ	64,939	112%

リコーデジタルサービス オフィスサービス概況：欧州

景気弱含みの影響が一部見られるが、買収企業を中心にサービスビジネスは好調継続

売上高 (億円)



- 買収企業 35%増収

- 景気弱含みのなかでも企業の業務プロセスのデジタル化やワークフローの自動化ニーズは高く、DocuWare等アプリケーションサービスは堅調

- 買収企業間、買収企業と既存販社のシナジー創出すすむ

- ✓ PFH*のマネージドサービスにMTI*のサイバーセキュリティを組み合わせたソリューションで案件獲得
- ✓ PureAV*と販売会社の連携でグローバル大手企業のCS案件獲得

分野別動向 (億円)

(為替影響除く)

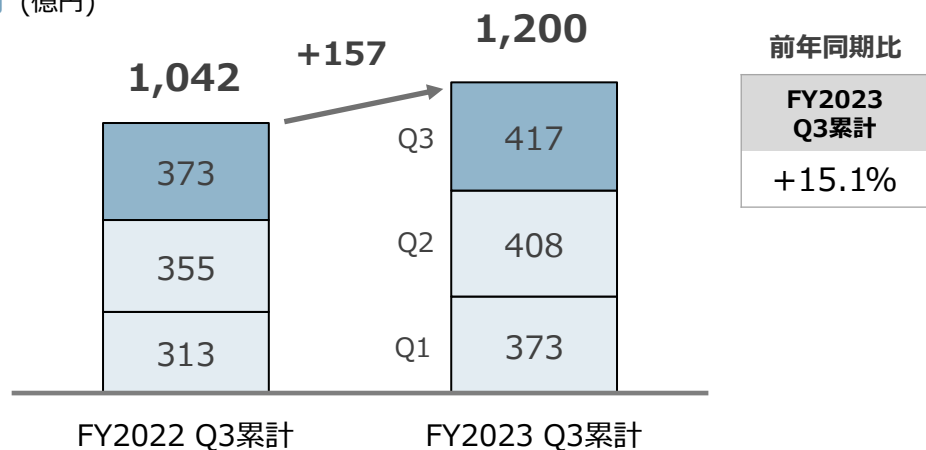
FY2023 Q3累計	売上高	前年同期比
オフィスサービス 計	1,828	+9%
ITインフラ (ハード・ソフト)	678	+14%
ITサービス	481	+9%
アプリケーションサービス	241	+16%
コミュニケーションサービス	239	+4%
BPS	187	-4%

*買収企業の位置付けはP.25を参照

リコーデジタルサービス オフィスサービス概況：米州

販売会社とCeneroの連携により、コミュニケーションサービス拡大

売上高 (億円)



- Cenero (2022年9月買収、コミュニケーションサービス) は好調
 - ✓ 米州既存顧客へCS案件獲得による新規導入進む
 - ✓ マネージドAVサービス契約数伸長でストック積上げに貢献



CeneroのService Operating Center
リモートでお客様にマネージドAVDサービスを提供

分野別動向 (億円)

(為替影響除く)

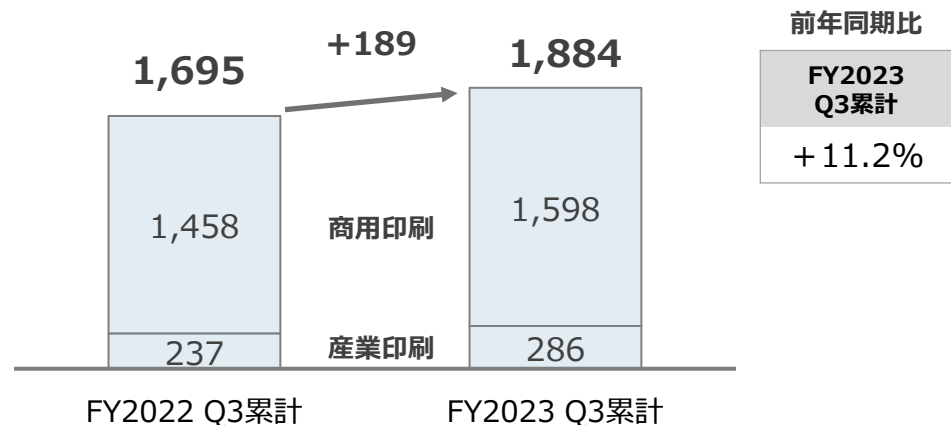
FY2023 Q3累計	売上高	前年同期比
オフィスサービス 計	1,200	+10%
ITインフラ (ハード・ソフト)	64	+13%
ITサービス	115	-6%
アプリケーションサービス	167	+12%
コミュニケーションサービス	117	+116%
BPS	734	+3%

- 重点業種 (医療・金融・小売・保険・製造) 向けサービスが着実に拡大
- BPSでは継続的に収益改善に取り組む
 - ✓ デジタルによる業務の効率化とプライシングコントロール

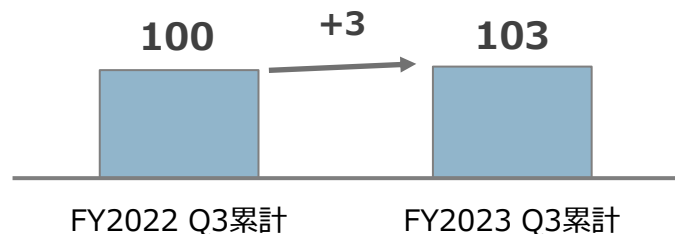
リコーグラフィックコミュニケーションズ

増収増益、ノンハードの成長続く

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



概況

● 商用印刷

ハード：デジタル印刷への投資意欲は継続
欧州の景気弱含みはリスクも、新製品を武器に拡販図る

ノンハード：主要市場の欧米と成長市場のアジア・中南米で成長継続
昨年度からの上位機（高PV）のストック積上げが貢献

CP売上前年同期比 (為替影響除く)

ハード・ノンハード別

	FY22				FY23		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
ハード	114%	121%	129%	137%	105%	110%	99%
ノンハード	110%	108%	102%	105%	104%	101%	104%

地域別

日本	103%	105%	95%	111%	88%	95%	101%
米州	112%	112%	119%	122%	106%	109%	101%
欧州	116%	112%	104%	120%	102%	99%	104%

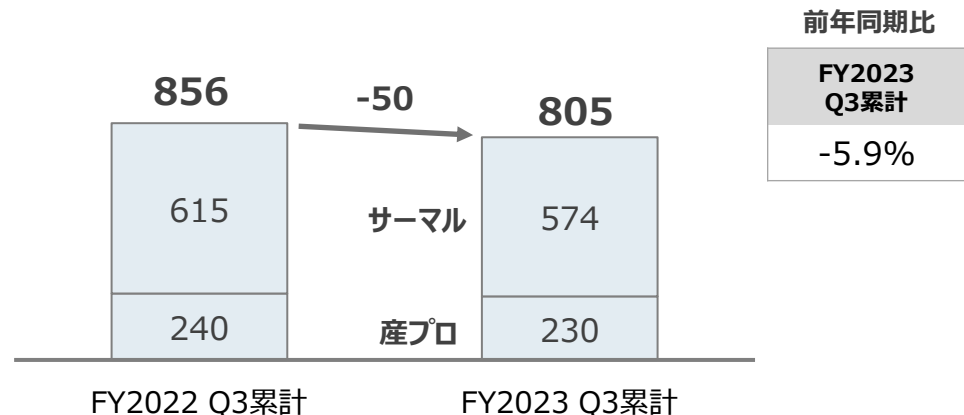
● 産業印刷

IJヘッド：積層ヘッドがサイングラフィック向け等で引き続き好調

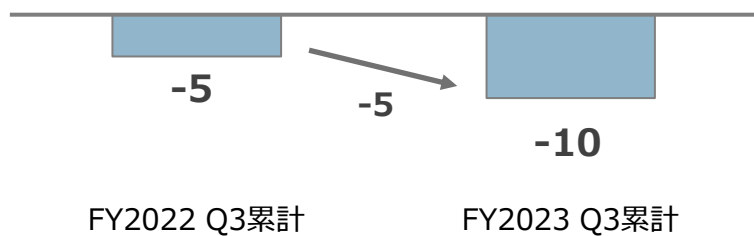
リコーインダストリアルソリューションズ

Q3は赤字幅縮小、サーマル事業は需要が引き続き弱含みも回復基調

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



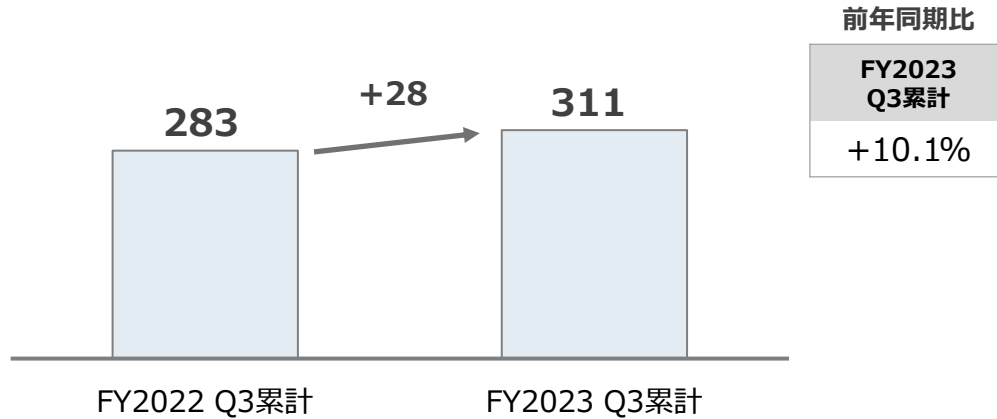
概況

- サーマル
 - ✓ 欧米での在庫調整及び需要低迷継続により、上期末達を挽回し切れていない
 - ✓ 購買・生産効率化によるコストダウン及びプライシングコントロール継続
 - ✓ 完成品までのトータルソリューションの提供は順調に進展
日本でラベルレスサーマルの顧客開拓進む
- 産業プロダクツ
 - ✓ オプティカルはプロジェクトの中国景気停滞影響等で減収
事業売却は2024年度上期完了予定

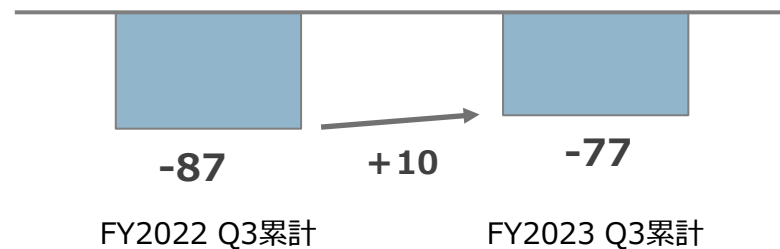
その他

新規事業分野にて経費コントロールを進める

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



※その他に計上していたPFU事業をリコーデジタルサービス、リコーデジタルプロダクツに移管。

概況

- Smart Vision
360度画像によるワークフローのデジタル化サービスに注力
ビジネス用途拡大に向け、共創パートナーの開拓強化
- 創薬支援
研究段階の製造受託好調、顧客獲得進む
- カメラ
好調継続

連結財政状態計算書

総資産は為替影響除くと実質252億円減少

棚卸資産は在庫の適正化を進め、為替影響除くとほぼ前年度末水準

資産の部

(単位:億円)	2023年 12月末	23/03末比 増減額	
流動資産	11,627	-125	
現金及び預金	1,817	-403	
営業債権及びその他の債権	4,724	-39	
その他の金融資産	1,024	+85	
棚卸資産	3,265	+121	在庫適正化進展 年度末需要向け在庫形成
その他の流動資産	795	+110	売却予定事業資産含む
非流動資産	10,450	+703	
有形固定資産	1,954	-10	
使用権資産	603	+33	
のれん及び無形資産	4,010	+346	戦略投資 (欧州ICT投資等)
その他の金融資産	1,550	+198	
その他の非流動資産	2,330	+134	
資産合計	22,077	+578	

(参考) 期末日為替レート: US\$ 1 = ¥ 141.83 (+8.30)
EURO 1 = ¥ 157.12 (+11.40)

(23/03末比増減)

負債及び資本合計の部

(単位:億円)	2023年 12月末	23/03末比 増減額	
流動負債	8,719	+428	
社債及び借入金	2,009	+430	
営業債務及びその他の債務	2,718	-405	
リース負債	220	-41	
その他の流動負債	3,770	+443	売却予定事業負債含む
非流動負債	3,221	-405	
社債及び借入金	1,752	-298	
リース負債	467	+86	
退職給付に係る負債	390	-19	
その他の非流動負債	611	-173	
負債合計	11,941	+22	
親会社の所有者に帰属する 持分合計	9,879	+563	
非支配持分	257	-7	
資本合計	10,136	+555	
負債及び資本合計	22,077	+578	
有利子負債合計*	3,761	+131	

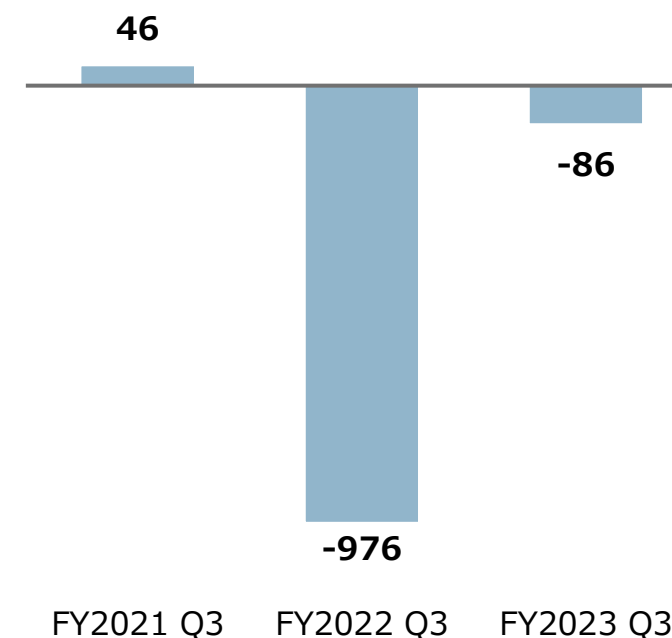
* 社債及び借入金の合計

連結キャッシュフロー計算書

前年比で在庫適正化など運転資本の改善、事業買収の減少等により、フリーキャッシュフローが改善

(単位:億円)	FY2022 Q3累計	FY2023 Q3累計
当期利益	282	301
減価償却費	684	801
その他の営業活動	-902	-481
営業活動によるキャッシュフロー	64	622
有形固定資産の取得及び売却	-263	-331
事業の買収	-522	-142
その他の投資活動	-255	-234
投資活動によるキャッシュフロー	-1,041	-708
有利子負債*の純増減 <small>*社債及び借入金</small>	1,114	62
支払配当金	-186	-213
自己株式の取得	-300	-0
その他の財務活動	-243	-241
財務活動によるキャッシュフロー	384	-392
換算レートの変動に伴う影響額	58	82
現金及び現金同等物の純増減額	-533	-395
現金及び現金同等物期末残高	1,806	1,713
フリーキャッシュフロー(営業C/F+投資C/F)	-976	-86

フリーキャッシュフロー推移 (単位:億円)



FY2023 通期見通し

FY2023 見通し <主要指標>

	FY2023 前回見通し	FY2023 今回見通し	前回比	FY2022 実績	FY22比	
売上高	23,300億円	23,000 億円	-1.3%	21,341億円	+7.8%	
売上総利益	8,150億円	8,050億円	-1.2%	7,454億円	+8.0%	
販管費等	7,450億円	7,450億円	-	6,666億円	+11.7%	
営業利益	700億円	600 億円	-14.3%	787億円	-23.8%	
営業利益率	3.0%	2.6%	-0.4pt	3.7%	-1.1pt	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	500億円	440億円	-12.0%	543億円	-19.1%	
EPS	82.09円	72.24 円	-9.85円	88.13円	-15.89円	
ROE	5%	4.5^{*1} %	-0.4pt	5.9%	-1.3pt	
ROIC	4%	3.3 %	-0.7pt	4.9%	-1.6pt	
期中平均 為替レート ^{*2}	1USDル 171-0	142.96円 154.18円	143.68円 155.19円	+0.72円 +1.01円	135.49円 140.91円	+8.19円 +14.28円
研究開発投資	1,080億円	1,080 億円	-	1,077億円	+2億円	
設備投資(有形固定資産)	480億円	480億円	-	454億円	+25億円	
減価償却費(有形固定資産)	430億円	430億円	-	419億円	+10億円	

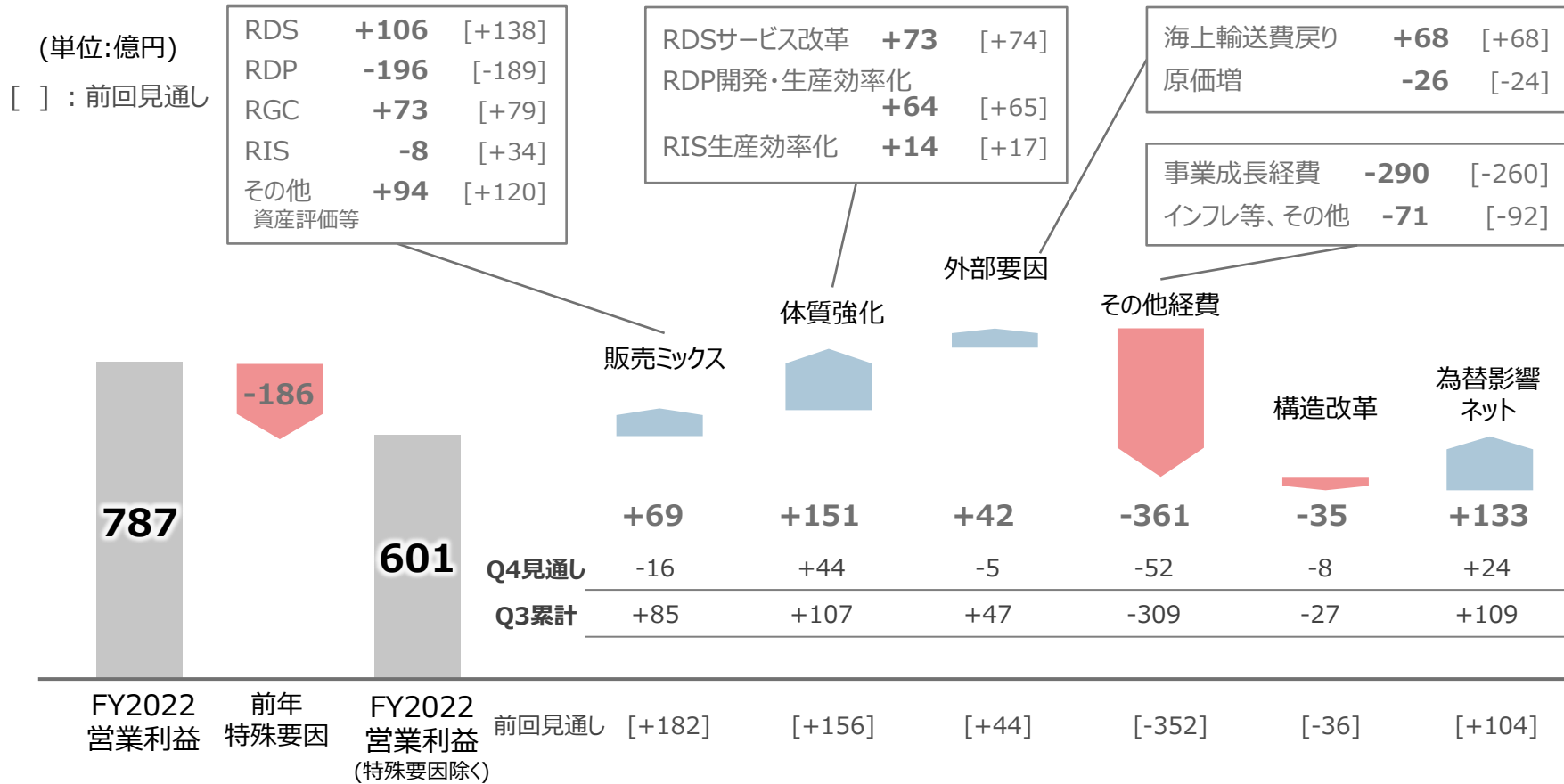
*1 自己株式取得を含まず

*2 FY2023 Q4 想定為替レート: US\$1=¥145, EURO1=¥155

FY2023見通し 要因別営業利益

- ✓ オフィスプリンティング事業・サーマル事業のQ3実績・事業環境を踏まえ、販売ミックスを下方修正
- CCC改善のための在庫・生産調整を優先し、生産収益の上期末達を年度内で挽回しきれない年度内に在庫・生産調整に区切りをつけ、来期に向け需要変動に応じた生販連携を立て直す
- サーマル事業の収益未達は年度内では挽回しきれないが、コスト・支出削減とプライシングコントロールは維持

【前年からの増減】



主な指標

RDS オフィスプリンティング
 売上前年比 ハード 107%
 ノンハード 99%

RDS オフィスサービス
 スクラムパッケージ売上 611億円
 スクラムアセット売上 679億円

参考 為替感応度*

(億円)	売上	営業利益
USDドル	44	2
ユーロ	38	9

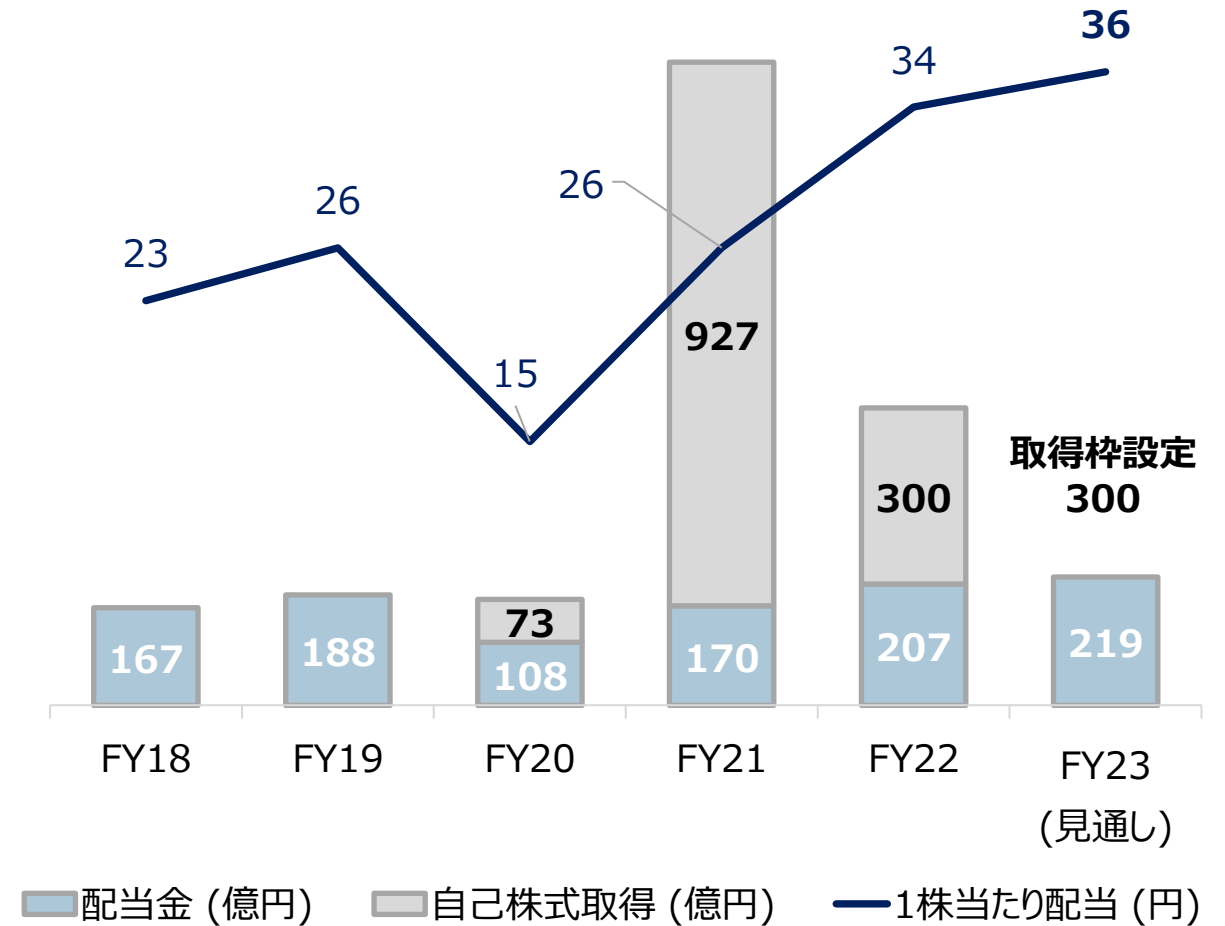
*1円の変動による年間影響額

セグメント別 売上・営業利益

		(単位：億円)	FY2022 実績	FY2023 見通し (前回)	FY2023 見通し (今回)	前回差
リコーデジタルサービス	売上		16,843	18,000	18,000	0
	営業利益		313	434	443	+8
リコーデジタル プロダクツ	売上		4,934	4,970	4,870	-100
	営業利益		347	214	148	-65
リコーグラフィック コミュニケーションズ	売上		2,348	2,720	2,720	0
	営業利益		145	109	126	+16
リコーインダストリアル ソリューションズ	売上		1,163	1,352	1,170	-182
	営業利益		31	61	31	-30
その他 (カメラ、新規事業他)	売上		405	465	380	-85
	営業利益		-94	-91	-120	-28
全社・消去	売上		-4,353	-4,207	-4,140	+66
	営業利益		43	-28	-29	-1
合計	売上		21,341	23,300	23,000	-300
	営業利益		787	700	600	-100

株主還元

- 総還元性向50%を目安とする方針は変わらず
- 継続的な増配と自己株式取得によるEPSの向上
 - 配当：
年間36円に増配 (中間18円 期末18円)
 - 自己株式取得：
追加還元として300億円の自己株式取得枠を設定
- 投資と資本のバランスについて、キャッシュフローアロケーションを継続検証し、機動的な資本政策を実行
 - ✓ 最適資本構成1兆円前後 (為替換算調整を除き9,000億円)の目標に対して、増加した為替調整勘定の段階的調整
 - ✓ 成長投資の方針に変わりなし



補足資料

主要施策のKPI

分野	KPI	FY21	FY22	FY23		
		実績	実績	期初見通し 年間	Q3累計 進捗・実績	
RDS (OP)	ハード売上 前年同期比 (除為替影響)	売上	96%	111%	107%	105%
	ノンハード売上 前年同期比 (除為替影響)	売上	104%	101%	99%	99%
	サービス改革	経費削減	130億円	101億円	74億円	55億円
RDS (OS)	日本：スクラムパッケージ	売上	484億円	494億円	611億円	417億円
	日本：スクラムアセット	売上	313億円	577億円	679億円	517億円
	ストックビジネス	売上	-	2,980億円	FY25 目標 3,800億円 CAGR 8%(FY22比)	2,536億円 +17%(FY22比)
RDP	開発・生産効率化	経費削減	122億円	58億円	71億円	43億円
RIS	生産効率化	経費削減	130億円	101億円	6億円	8億円

セグメント概要

セグメント	主な事業・機能	主な製品・サービス
リコーデジタル サービス RDS	オフィスサービス (OS)	ITインフラ (ハード含む) 、ITサービス、アプリケーションサービス、 コミュニケーションサービス (ハード含む) 、BPS (Business Process Services)
	オフィスプリンティング (OP) [販売]	ハード：MFP、プリンタ ノンハード：消耗品、サービス・サポート
	その他	各地域での独自に展開するビジネス (環境エネルギー、サービスアドバンテージ、他)
リコーデジタル プロダクツ RDP	オフィスプリンティング (OP) [開発・生産]	ハード：MFP、プリンタ、コミュニケーションデバイス ノンハード：消耗品 その他：スキャナ、電装ユニット
リコーグラフィック コミュニケーションズ RGC	商用印刷 (CP)	ハード：プロダクションプリンタ ノンハード：消耗品、サービス・サポート
	産業印刷 (IP)	ハード：IJヘッド、産業プリンタ ノンハード：消耗品、サービス・サポート
リコーインダストリアル ソリューションズ RIS	サーマル	サーマルペーパー、熱転写リボン、ラベルレスサーマル
	産業プロダクツ	産業用光学部品、精密機器部品、産業設備

RDSへの
セグメント間売上
および OEM

デジタルサービスの会社へ向けて

デジタルサービス売上比率
現場のデジタル化 オフィスのデジタルサービス

FY22
44%
7% 37%

FY23 Q3累計
47%
8% 39%

FY23計画
49%
8% 40%

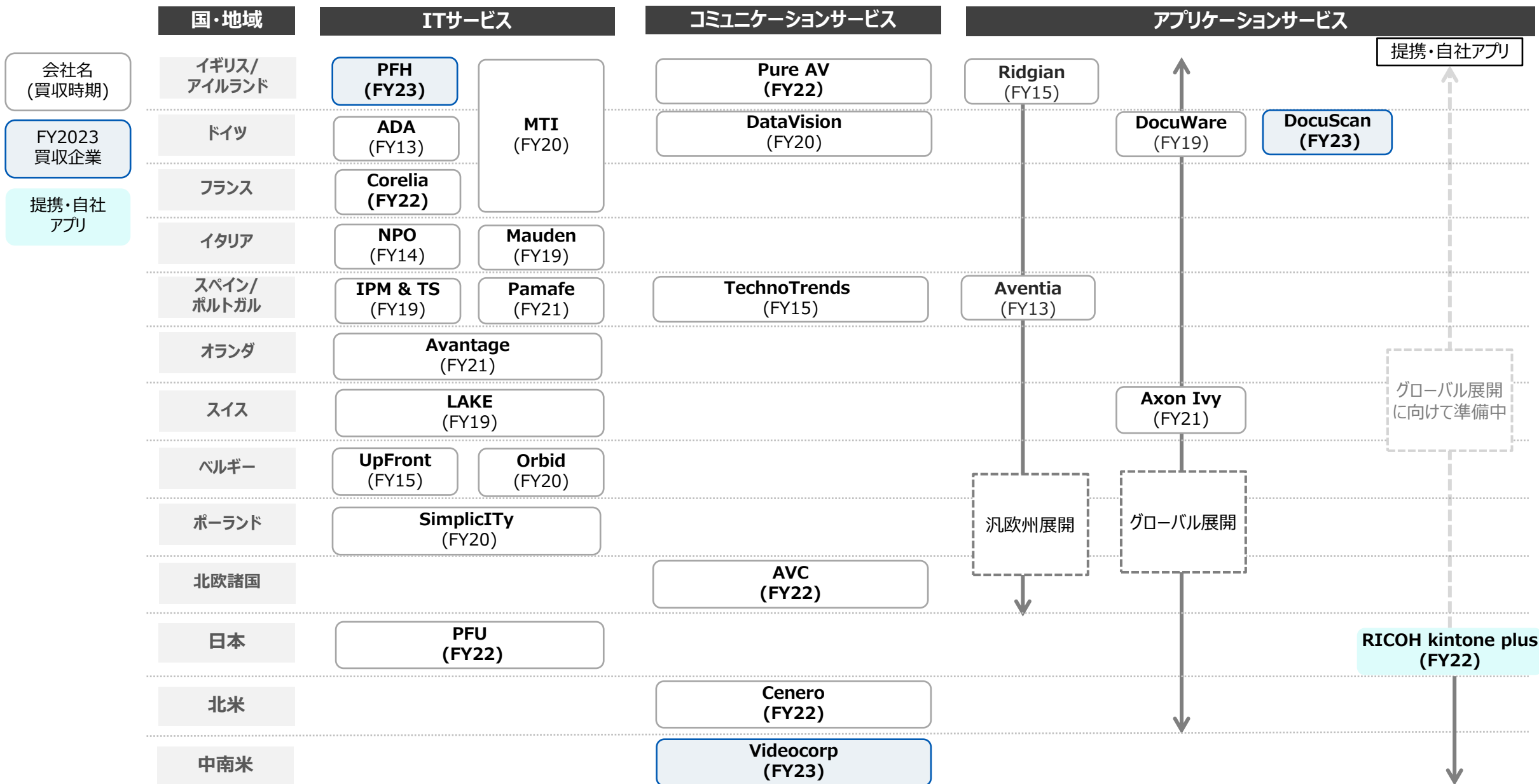
FY25目標
60%超
13% 50%
オフィスサービスの成長を中心に実現
全体も伸長



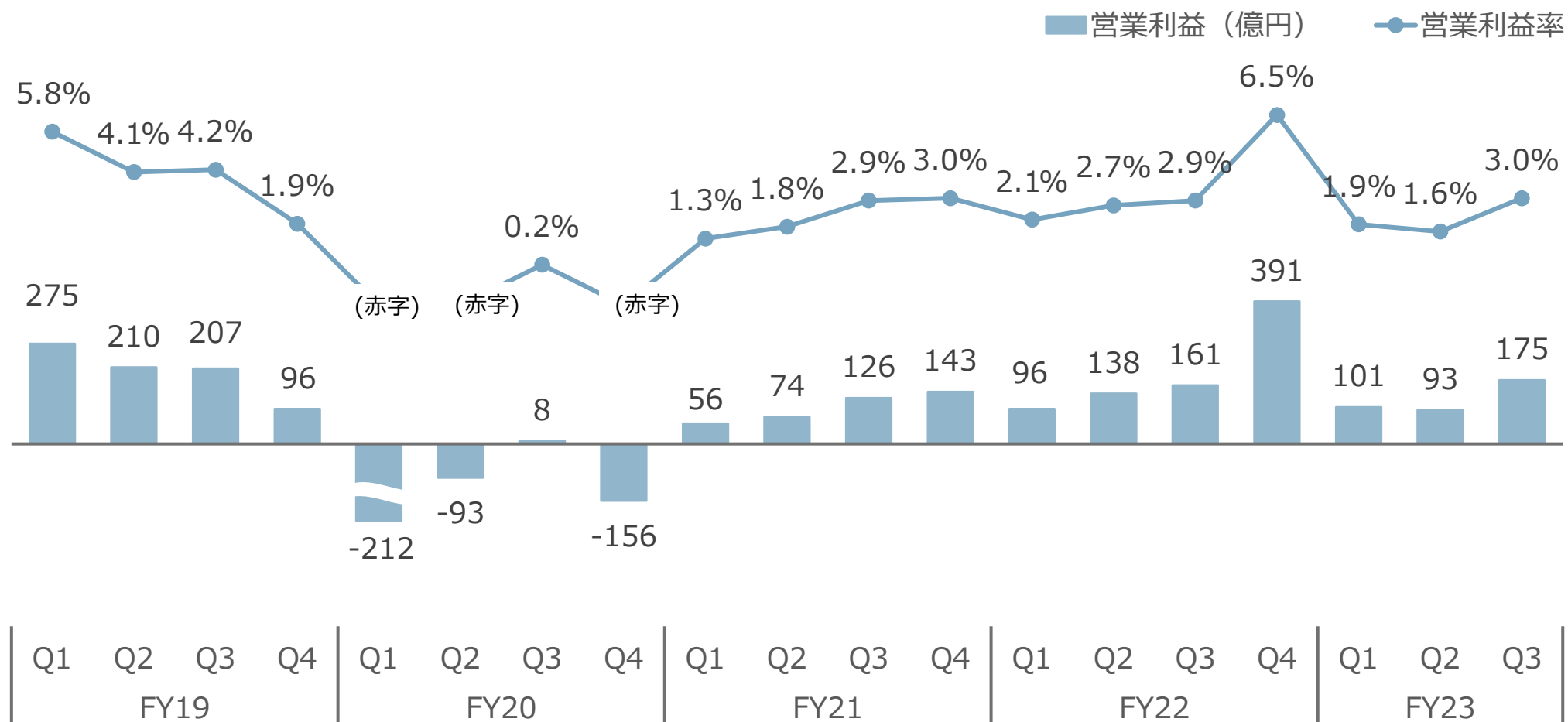
現場のデジタル化

オフィスの
デジタルサービス

各地域 体制強化の進捗状況



四半期営業利益推移



オフィスプリンティング

(為替影響除く)

売上高 前年同期比	FY2022				FY2023			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	累計
ハード	96%	106%	117%	124%	110%	105%	99%	105%
ノンハード	101%	103%	100%	100%	99%	97%	100%	99%

地域別 (ハード+ノンハード)

(為替影響除く)

売上高 前年同期比	FY2022				FY2023			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	累計
日本	98%	107%	100%	108%	100%	99%	101%	100%
米州	119%	133%	113%	110%	103%	103%	99%	102%
欧州	107%	105%	106%	110%	105%	100%	98%	101%

オフィスサービス

売上高 (億円)	FY2022				FY2023				
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	累計	前年同期比 (為替除)
オフィスサービス	1,426	1,694	1,858	2,199	1,829	2,097	2,040	5,968	+15%
ITインフラ	457	543	629	812	615	714	676	2,006	+19%
ITサービス	302	372	421	475	410	479	464	1,355	+19%
アプリケーションサービス	289	329	327	440	343	403	374	1,121	+15%
コミュニケーションサービス	94	146	171	168	154	176	188	519	+19%
BPS	282	302	308	303	305	324	335	966	+2%

各分野における主な事業内容

ITインフラ：

IT環境構築やセキュリティサービス提供に伴う、ハード・ソフトの仕入れ販売

ITサービス：

IT環境構築やセキュリティサービス提供に伴う、導入・構築・運用保守

アプリケーションサービス：

自社製・仕入れのアプリケーションソフトの導入・構築・運用保守
 自社ソフトウェアは、DocuWareやRICOH kintone plus、
 ドキュメントソリューション製品など

コミュニケーションサービス：

コミュニケーション環境構築に伴う、導入・構築・運用保守、マネージドサービス
 自社エッジデバイスの販売含む

BPS (Business Process Services)：

顧客出力センターの受託ビジネスと、その顧客基盤を活用した新規サービス等

オフィスサービス：主な外部・パートナー評価

2023年 6月 リコージャパン、「CYBOZU AWARD 2023」セールス部門賞、インテグレーション部門賞およびエリア賞2部門を受賞

リコージャパン、マイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザ イヤー 2023受賞

8月 リコージャパン、「TREND MICRO Partner Award 2022」XDRサイバーセキュリティ部門を受賞

9月 リコー、米国IDC社の2023年プリント・トランスフォーメーションの評価レポートで「リーダー」を獲得
ドキュメント中心の組織から、データ中心の企業へと進化してきたことを評価

英国Verdantix社のワークプレイス システム インテグレータ レポートにおいてスペシャリストを獲得

11月 リコージャパン、J.D. パワーのサーバー保守サービス顧客満足度調査で9年連続第1位の評価

12月 リコーが米国の出版社Systems Contractor News (SCN)により、第3位のAVインテグレーターに認定

リコージャパン、「Cisco Partner summit 2023」および「Cisco Partner Conference Japan 2023」において、
「APJC Geo Awards SMB Partner of the Year」「Area Partner of the Year（北海道・東北）」を受賞

リコーがシスコからAPAC地域のSMBマネージドサービスパートナー・オブ・ザ・イヤーに認定

2024年 1月 Axon Ivy、各種調査会社（Forrester/Gartner/Quadrant Knowledge Solutions）より
ビジネスプロセスオートメーション分野でのリーディング企業として評価

リコーUSAがマネージドITサービスパートナー調査で最高評価を獲得、
Keypoint Intelligence社からBLI Pacesetter Awardを受賞

- 2023年 4月 企業理念を改定、「“はたらく”に喜びを」を「使命と目指す姿」に定める
リコーグループにおけるマテリアリティ(重要社会課題) を改訂し、21次中期経営戦略のESG目標を設定・公開
リコーグループ サプライヤー・パートナー行動規範 を改訂発行
- 6月 三井住友信託銀行とポジティブ・インパクト・ファイナンスの融資契約を2年連続で締結
みずほ銀行と「Mizuho Eco Finance」の融資契約を締結
- 7月 スコープ3の削減シナリオを策定しGHG排出削減を強化 カテゴリー4(輸送)におけるGHG排出量をグローバルに可視化・削減
リコージャパン、「サステナビリティレポート2023」「SDGsコミュニケーションブック2023」を発行
- 9月 「リコーグループ統合報告書2023」、「リコーグループTCFDレポート2023」、
「リコーグループサーキュラーエコノミーレポート2023」および「リコーグループESGデータブック2023」を発行
「技術倫理憲章」を制定 デジタルサービスの社会実装・運用に内在する倫理的リスクを抑制
- 10月 企業年金における「日本版スチュワードシップ・コード」の受け入れ表明
- 12月 **リコーとリコーリース、国内グループ会社に初の自己託送による再エネを導入** ~追加性を重視した再エネ導入を強化~
経済産業省による「サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップ」に参画

- 2023年 4月 GPIFの国内株式運用機関が選ぶ「優れたTCFD開示」に選定
- 6月 「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業」に2年連続で選出
- 7月 GPIFが採用する6つのESG指数（国内株式）すべてに選定 GPIF採用指数外でも、「FTSE4Good Index」に20年連続選定
- 8月 Ricoh USAが「2023 Great Place To Work®」（働きがいのある会社）に認定
- 9月 TIME誌が選ぶ「World's Best Companies of 2023」に選出
Environment、Social、Governance の3つの側面等から、世界のトップ企業750社を選出
Ricoch CanadaがCanadian Council for Aboriginal Business (CCAB)の「Progressive Aboriginal Relations™」でブロンズ認証を獲得
Ricoch CanadaがExcellence Canadaの「Healthy Workplace®」でゴールド認証を獲得
- 10月 岐阜県恵那市に所有する「リコー えなの森」が環境省の自然共生サイトとして正式認定
A3フルカラー複合機 RICOH IM C6010シリーズ、資源循環技術・システム表彰で奨励賞およびコラボレーション賞を受賞
- 11月 **リコー中国が「2023黄浦区ESG革新実践賞」を受賞、グリーンパイオニアとして評価される**
A3フルカラー複合機「RICOH IM C6010シリーズ、エコマークアワード2023 ベストプロダクトを受賞
「第5回日経SDGs経営調査」で5年連続最上位の星5に認定
- 12月 **日本経済新聞社のCyber Index Awards 2023特別賞を受賞**
～情報セキュリティの取り組みの積極的発信、体制構築・強化に高評価～
「Dow Jones Sustainability World Index (DJSI World) 」の構成銘柄に4年連続で選定
省エネ大賞の省エネ事例部門 経済産業大臣賞と、製品・ビジネスモデル部門 省エネルギーセンター会長賞を受賞
～沼津事業所の省エネ活動と省エネ・省資源を追求したフルカラー複合機が対象～
- 2024年 1月 **米国IDC社の2023年 Sustainability Programs and Services評価で「リーダー」を獲得**
世界で最も持続可能な100社「2024 Global 100 Most Sustainable Corporations」に選定

RICOH

imagine. change.